39 01 04 02 01 004

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月24日（月）

事務事業	ごみ減量・資源リサイクル事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3909
第２次総合計画 行政施策分野別名		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 リサイクル活動推進奨励金交付要綱				
中項目	200003 人と自然にやさしいまちづくり						
小項目	200002 環境衛生の推進						

事業概要	ごみの減量化とリサイクル活動の推進を行う 奨励金については、日常生活から排出される資源ごみを自主的に回収する団体に対し交付する。（平成２２年度まで：１ｋｇ当たり６円　　平成２３年度から：１ｋｇ当たり３円）
目的 ※何のために	資源物の再利用の促進、廃棄物の減量化を図る
対象 ※誰・何を対象に	日常生活から排出される資源ごみを集団回収する登録団体
手段 ※どのように	奨励金の交付
成果 ※何を求めるか	自主的な資源回収活動の定着促進とこれに伴う家庭から排出されるごみの縮減
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	02	清掃費	01	清掃総務費	ごみ減量・資源リサイクル事業	4,334,496
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ リサイクル活動推進奨励金交付	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	13,202,000	12,306,000	12,286,000	11,394,000	9,286,000	9,104,000
	決算額	10,481,771	9,679,348	8,520,509	4,334,496	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10,481,771	9,679,348	8,520,509	4,334,496	9,286,000	9,104,000
人件費	従事職員数（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	人件費相当試算 ※１	3,889,500	3,891,000	3,930,500	4,068,000	4,068,000	4,068,000
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		14,371,271	13,570,348	12,451,009	8,402,496	13,354,000	13,172,000

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	リサイクル奨励金交付団体数	目標値	件	365.00	370.00	375.00	380.00	385.00	390.00	□
			実績値		367.00	376.00	357.00	253.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度を基に毎年５団体増える目標とした。							
		決算における交付団体数									
■	成果指標１	リサイクル奨励金交付額	目標値	千円	12,501.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00	□
			実績値		10,241.77	9,679.35	8,517.37	4,334.49	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成３０年度予算における見込金額を目標とした。							
		決算における奨励金の交付額									
■	成果指標２	廃棄物のリサイクル率	目標値	%	7.00	16.90	17.00	17.10	17.20	17.30	□
			実績値		16.80	16.00	15.84	15.24	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		一般廃棄物処理基本計画に伸率を算出し有害・有価物，集団回収合計に乗じ目標とした。							
		リサイクル率＝資源物小計＋深谷									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	C	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 コロナ禍の影響により密を避けるため、一時的にリサイクル奨励金交付団体の活動数が減少し目標値には届かなかったが、その状況下においても再資源利用の推進が図られた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 コロナ禍の影響により密を避けるため、一時的にリサイクル奨励金交付団体の活動数が減少し、奨励金の交付額も目標値には届かなかったが、リサイクル推進に対する奨励金交付団体の活動成果が見られた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　係長　石川　秀敏

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	毎年度発行しているごみの分け方出し方において、リサイクルの必要性を掲載し、地域の集団回収の推進を情報発信を実施する。
達成状況 及び その効果	『ごみの分け方・出し方』に『雑紙』、『リサイクル』、『地域の集団回収』について掲載した。また、リサイクル活動奨励金制度を広報でＰＲし、新規登録団体の募集を募った。 このほか、地元自治会に対し、看板の設置やチラシの配布依頼を行い、ごみの分別ルールについての啓発を行った。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ごみ減量・資源リサイクル事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3909

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

市民のリサイクル活動を推進し、資源ごみの再資源化、更には、ごみの減少へと繋げていくため必要な事業である。令和２年度については、コロナ禍の影響により密を避けるため、一時的に活動団体・回収実績が減少したが、今後は社会情勢を注視しながらリサイクル活動団体を増やし、集団回収を推奨していくことが重要である。

評価者	課長　富田　勝

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

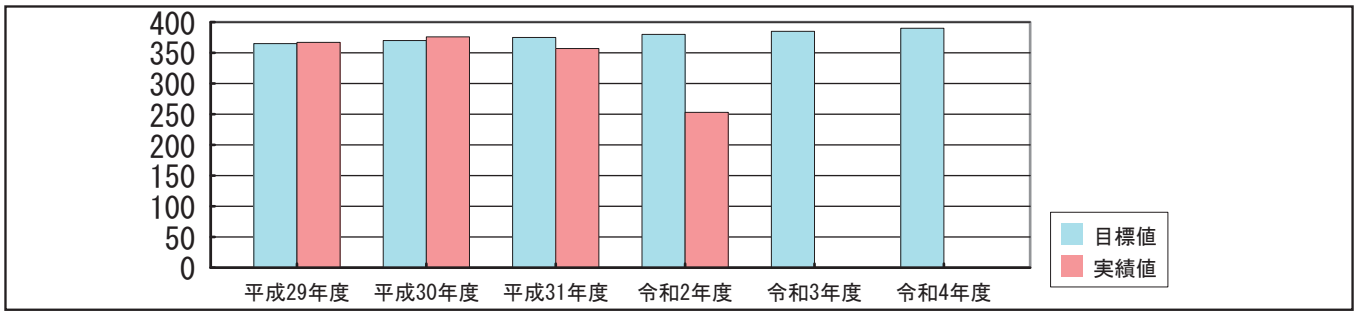
改善・改革案	毎年発行している『ごみの分け方・出し方』において、リサイクルの必要性を掲載し、地域の集団回収の推進を図るための情報発信を実施する。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

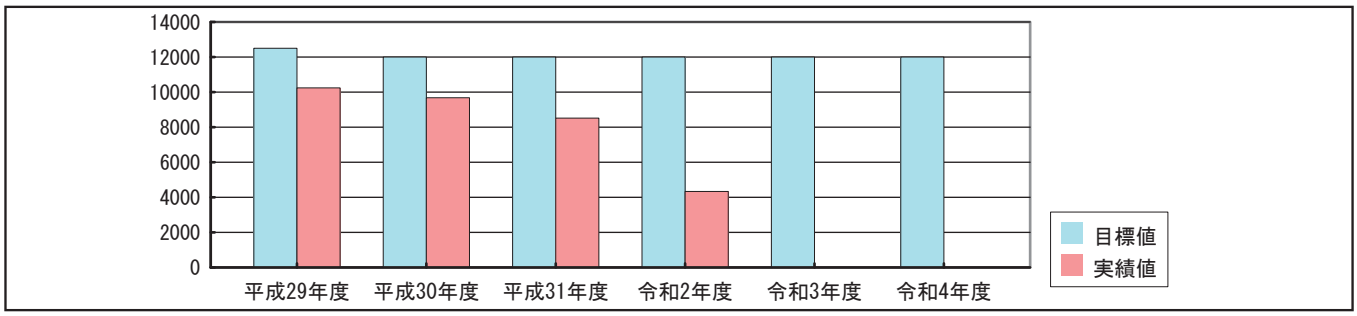
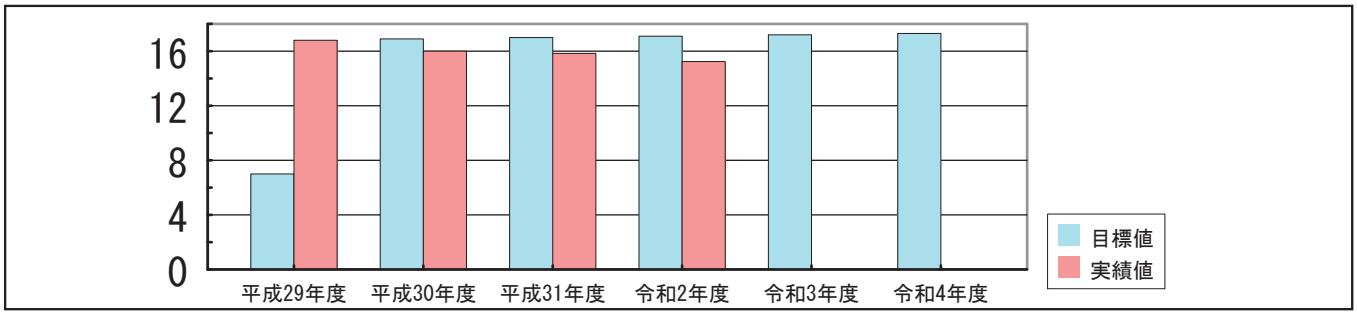
今後の課題	ごみの減量化を進めるため、リサイクル対象品目の見直しを行っていく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	リサイクル奨励金交付団体数



区分	成果指標１	指標名	リサイクル奨励金交付額



区分	成果指標２	指標名	廃棄物のリサイクル率